



李先生、石田院長、若い先生2人と(2019年3月)



聖母眼科病院を見学(2016年11月)



釜山にて李先生と(1994年1月)

行事報告 [1月-3月]

1月 新年会を開催

1月5日、毎年恒例の新年会が開催されました。会の冒頭、石田院長は「今年も一年、中央に匹敵する医療を目指して頑張りましょう」とあいさつされました。



2月 手術学会、角膜カンファに参加

2月1日から3日、横浜市のパシフィック横浜にて日本眼科学術学会が開催されました。また、2月7日から9日、京都市のウェスティン都ホテル京都にて、角膜カンファランス2019が開かれました。当院からは、石田院長、山口達夫医師、石田学医師が参加しました。



2月 眼科フォーラムを開催、全国から約40名の医師が集まる

2月16日、石田眼科本院にて、第38回上越眼科フォーラム「Deep Strikers Seminar」を開催しました。全国より昨年を大幅に上回る、約40名の医師が集まり大変有意義な勉強会となりました。



2月 防衛大学校 竹内先生を講師にフォーラムを開催

2月22日、第39回上越眼科フォーラムを開催しました。講師に、防衛医科大学校 眼科学講座 教授 竹内大先生をお招きし、「ぶどう膜炎における続発緑内障の診療」についてご講演いただきました。



専門外来のご案内 [6月・7月・8月・9月]

日程は変更になる場合があります。なお、専門外来は予約制となっております。詳しくはスタッフにお尋ねください。

網膜硝子体 専門外来	順天堂大学浦安病院	眼科准教授	本田 美樹先生	6/19、7/17、8/21、9/18
	順天堂大学練馬病院	眼科教授	横山 利幸先生	6/21、7/12、9/20
	聖路加国際病院	眼科部長	大越 貴志子先生	7/6、8/31
	京都府立医科大学	眼科専門医		6/15
緑内障 専門外来	日本赤十字社医療センター	前眼科部長	濱中 輝彦先生	6/6、6/7、6/27、6/28、7/18、7/19、7/25、7/26、8/1、8/2、9/19、9/20、9/26、9/27
	東京大学医学部附属病院	眼科教授	相原 一先生	6/1、8/23
角膜屈折矯正 専門外来	聖路加国際病院	顧問	山口 達夫先生	6/22、7/20、8/17、9/21
	京都府立医科大学眼科学教室	眼科講師	稲富 勉先生	6/8
眼形成・涙嚢 専門外来	東邦大学医療センター大橋病院	非常勤講師	矢部 比呂夫先生	7/25
	京都府立医科大学	眼科助教授	渡辺 彰英先生	8/3
小児専門外来	順天堂大学練馬病院	眼科教授	横山 利幸先生	8/30、8/31

／友情は国境を超えて／

現在の日韓関係は戦後最悪と言われており、私も個人的に思う所は多々あります。

ただ、このような状況にあらうとも、私には30年以上に亘り親交を深めて来た真の友人が韓国にいます。釜山の聖母眼科病院院長 李京憲先生です。1983年、私が医局長だった順天堂大学眼科に、李先生が留学されて以来のお付き合いです。

当時、我々医局員が朝早くから夜遅くまで長時間に亘り忙しく働く姿を目の当たりにして「日本の先生は本当によく働きますね」とおっしゃっていました。ところが、李先生は母国に帰国後猛烈に働かれ、自身の眼科病院を設立し、現在では韓国で一番目の規模となる素晴らしい眼科専門病院に成長を遂げられています。

李先生は屈折矯正手術(近視、乱視、遠視)に関して、極東アジアに留まらず世界的にも最先端の眼科医として実績を持つ有名な眼科医となられています。韓国の医療制度は日本とは異なり、特に規制が比較的緩やかで、欧米の先進医療機器を日本より早期に導入する事ができていました。PRKやレーシック、更にはICL(有水晶体眼内レンズ)による強度近視治療などいち早く取り入れておられます。20年ほど前から1〜2年に一度スタッフを連れて聖母眼科病院を訪れ、色々と指導を受け意見交換をしてきました。屈折矯正治療に限らず色々な事に威張ることなく利点・欠点の全てを教えて下さるなど、李先生は心から尊敬できる方です。つい最近では、聖母眼科病院の若手眼科医2名を連れてロッテアライリゾートに来られた際に、当院の見学にも来られました。

改善の兆しが見えない日韓関係の中にあっても、私達の真の友情はこれからも変わることはないことが、せめてもの救いになると思っています。

石田眼科院長 石田 誠夫

地域の架け橋

vol.04

いわしや薬局

いわしや薬局を経営する町田家の祖先は、1684年頃に姫路藩の神原氏と共に移住した姫路藩士。その後、呉服町(現本町二丁目)に商家を構え、1818年頃に五代目久之助が宿屋「町田屋」を営みました。明治時代になり、当主市三郎は宿屋に見切りをつけ、薬学を学ばせていた長男 久吾の帰郷を待って薬局を開局しました。おそらく、頸城一円で最初の近代薬局と思われる。「いわしや」の名は、久吾が修行した東京・本郷の衛生材料店の屋号をそのまま踏襲したものだそうです。



住所 上越市本町3丁目2-24
電話 025-524-4303
営業時間 平日 8:30~19:00
日曜、祝日 9:00~18:00



大正時代のいわしやの玄関



最新眼科医療技術紹介 オルソケラトロジー（ナイトレンズ）

近視治療には眼鏡やコンタクトレンズが一般的ですが、近年はレーザー治療や有水晶体眼内レンズを挿入する方法もあります。しかし、後者の治療には手術が必要です。オルソケラトロジーは、手術はせずに、夜間睡眠中にハードコンタクトレンズを装着する事で角膜の形を平坦化して近視を矯正します。朝起きてレンズを外した後も一定時間角膜の形が保持され、日中はコンタクトレンズやメガネを装着せずに裸眼で生活することが可能です。

オルソケラトロジーの仕組み
オルソケラトロジーのレンズの内側には複数の特殊なカーブがあり、それによって角膜の形状を夜間の睡眠



中にゆっくり矯正することができず。翌朝レンズを外した後も角膜の形状が一定時間保たれ、日中は裸眼で生活できるようになります。シンガポールでは低学年の子どもにも治療を行い、進行を止めるという報告がありますが、本邦では慎重に行うことが原則です。



オルソケラトロジーの特徴

ご興味のある方はスタッフまで。

- ### メリット
- 日中の裸眼生活が可能
 - 手術の必要がない
 - 近視進行を抑える効果があるといわれている
 - 角膜の柔らかい子供には特に効果が期待できる
 - レンズの装用をやめると角膜の形状が元に戻る
 - 心理的負担が少なく始められる
 - 近視性乱視も矯正可能
 - 裸眼でスポーツができる
 - 装用時のレンズの破損やズレのリスクが低い
- ### デメリット
- ◆ 強度の近視・乱視には不向き
 - ◆ 遠視の矯正は不可
 - ◆ 安定した視力を得るのに時間がかかる
 - ◆ 夜など暗い場所で光がにじんで見えることがある
 - ◆ 眼疾患のある人には不適切な場合がある
 - ◆ (例)強度のドライアイ、アレルギー、円錐角膜、眼底疾患など
 - ◆ 一般のコンタクトレンズ同様にケアに手間がかかる
 - ◆ 保険適用外のため費用がかかる

最先端の治療だから後遺症も少なく安全・安心です。

近視屈折矯正治療 ～イントラレース～

(2月施行)	(1月施行)	(9月施行)
女性30歳	男性27歳	男性31歳
治療前 右 0.04 左 0.05	治療前 右 0.2 左 0.1	治療前 右 0.04 左 0.04
治療後 右 1.2 左 1.2	治療後 右 1.5 左 1.5	治療後 右 1.2 左 1.2

イントラレースとはフェムトセカンドレーザーとエキシマレーザーを使用し、レーザーによる治療で視力を矯正する方法です。従来のレーシックとは異なり、後遺症も少なくより安心・安全に治療できます。

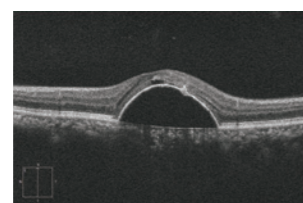
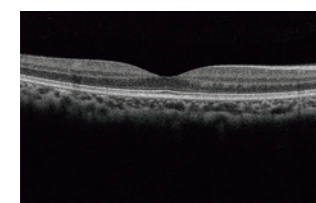
多くの若者が近視を治してコンタクトレンズや眼鏡から解放されています。説明用ビデオを院内で放映中。貸し出しもしています。是非ご覧下さい。

興味のある方は
無料説明会
開催中

最新眼科医療器機紹介 ～OCT 光干渉断層計検査(Optical coherence tomography)～

OCT検査とは、近赤外光を利用して網膜の断面像を得ることのできる検査です。患者さん自身にほとんど負担をかけることなく眼底の断面図をミクロンレベルで繰り返し撮影することが可能な、非常に画期的な検査です。眼底用OCTはここ20年間で開発されてきた歴史は浅いですが、眼科医療器機の中で最高の検査器機といっても過言ではありません。当院では本邦での最初の器機から導入し、急速に器機は進化し現在は5代目の導入ですが、臨床の場で大いに役立っており、加齢黄斑変性、黄斑円孔や網膜浮腫などの網膜疾患の診断や術後評価に大変有用です。

緑内障や前眼部疾患に特化した機種もあります。特にOCTのミクロンレベルの解像度データは緑内障の治療効果判定や経過観察において信頼性のある判断材料になります。



2018年手術件数報告 (2018年1月～12月)

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| ● 白内障手術 1436件 | ● イントラLASIK、PRK、PTK、タッチアップ 50件 |
| ● 緑内障手術 57件 | ● その他 87件 |
| ● 角膜移植 11件 | (計2601件) |
| ● 網膜硝子体手術 161件 | |
| ● 翼状片手術 45件 | |
| ● 外眼部手術 19件 | |
| ● 眼瞼下垂手術 105件 | |
| ● 斜視 11件 | |
| ● 涙嚢鼻腔吻合術 10件 | |
| ● 硝子体注入 609件 | |

「絆」 初代院長の頃より通院されている方や100歳を超える方とのスナップ写真です。

